



ホームページ QR

令和 7年 6月18日

第5号

文責：小嶋 和徳

<学校教育目標>

「夢・実現」

☆考え伝え合い高め合う子

☆思いやりの言動ができる子

☆目標に向かって努力する子

ぎばった中総体

5月25日(日)に球技・武道競技、6月8日(日)に陸上競技の五島市中総体が行われました。バドミントン部と柔道部は4月に新入部員を迎え、新たな体制でこの大会を目標に練習を頑張ってきました。また、総合文化部は、激励会で出場選手の闘志を高めるために、エールの練習に取り組んできました。その力強いエールに応えるかのように、大会に出場した選手は躍動し、力を発揮することができました。

球技・武道大会が終わると、岩村晴陽さんがリーダーとなって、陸上の練習を中学生全員で取り組みました。練習をしながら自分の力を発揮できそうな種目を決定し、自己の記録を伸ばそうと練習に励みました。「苦手だから・・・」「きついから・・・」とあきらめたりさぼったりすることなく、向上心をもって頑張るところが奈留っ子の素晴らしさです。当日は大雨の予報でしたが、競技中に雨が降ることもなく、練習してきた成果をそれぞれに発揮することができていました。中学3年生にとって、五島市の中総体は最後でしたが、練習や本番を通して、それぞれに心身を成長させることができたはずです。五島市の代表として県大会に出場するバドミントン部のみなさん。あと一月、力と技をさらに磨き、大会に挑んでください。



<中総体結果>

【バドミントン競技】

*男子シングルス

田上 湧大(3位)

生田 楓(2回戦惜敗)

*男子ダブルス

佐藤 航太(1回戦惜敗)

岩村 晴陽・小河原 楓(優勝)

北野 恵太郎・降田 獅龍(3位)

*女子シングルス

北川 愛梨(準優勝)

*男子団体戦

優勝



【柔道競技】

*男子50kg級

川口 勇歩(3位)

三島 海青(1回戦惜敗)

【陸上競技】

<男子の部>

*低学年100mハードル

降田 獅龍(5位) 19秒5

*2年 4×100mリレー

生田楓・北野恵太郎・佐藤航太・田上湧大(6位)
55秒0

*低学年4×100mリレー

生田楓・降田獅龍・三島海青・田上湧大(2位)
52秒5

*共通年4×100mリレー

川口勇歩・岩村晴陽・小河原楓・原塚愛夢(6位)
52秒9

*共通 走り高跳

田上 湧大(2位) 1m50cm

生田 楓(3位) 1m40cm

*共通 三段跳

川口 勇歩(4位) 10m43cm

三島 海青(6位) 8m78cm





ペタンク交流大会

奈留町民生委員児童委員協議会の皆様が主催する「ふれ合いペタンク交流会」に、長濱教頭先生が音頭を取って、奈留中学校の生徒と先生でチームを作り、出場しました。小学生も友達とチームを作ってたっさん参加していました。ビュット(目標の球)をめがけて金属の球を投げるごとにチームで一喜一憂する様子は、見ていてとても微笑ましく感じました。対戦する地域の方々と会話を交わしながら、よい雰囲気でした。小学生チームが、地域の強豪チームと互角に戦うなど、大健闘していましたが、残念ながら入賞を果たすことはできませんでした。地域の方から「いつもより子供たちが多く参加しているので、にぎやかになっていい。」という言葉いただきました。子供たちも先生たちも地域の一員として楽しい時間を過ごすことができました。老人会など地域の皆さんにお声がけさせていただき、昼休みに子供たちとするのもいいかなと感じました。



登下校の御協力 ありがとうございました

先日は、朝から豪雨と強風の予報で、警報が発令されそうだったことから、児童生徒の安全確保のために「安心安全メール」で送迎をお願いしました。幸い他の地域ほどの降雨ではありませんでしたが、大潮の満潮時刻と重なり、海水が道路に押し寄せそうで危険な状況でした。お陰様で子供たちはその日、無事に登下校することができました。御協力ありがとうございました。

これから本格的な梅雨の季節に入り、その後は台風など自然災害が起きやすい時期となります。子供たちの安全のために以下の点を対応策としてご確認ください。

◆雨風が強い予報が出され、登校が危険と判断した場合の対応

- * 前日または当日の朝、学校から「送迎依頼メール」を流す
 - ※送迎ができない家庭→自宅待機 おさまってから登校
 - おさまっても保護者が不安と判断→欠席

- * 教育委員会と協議して、登下校時刻をずらす
 - ※ずらした時刻でも登校させることが不安と保護者が判断→欠席

- * 災害級の予報・警報発令で危険度が高い場合→休校

◆登校後、天気が荒天した(しそうな)場合の対応

- * ひどくなる前に下校(教職員が途中まで引率)
 - ※保護者には下校を早めたことを安心安全メールで伝える
 - ※自宅に保護者不在で子供だけいるのが不安な家庭
 - 保護者から親戚や御近所に安全確保を依頼
 - 保護者が学校へ依頼して迎えに行けるまで学校待機
 - ※場合によっては対応できないこともあります

- * 保護者に「迎え依頼メール」を流す→迎えに来た家庭から保護者引き渡し

